

学校だより
長泉小学校

☆学校教育目標 「自ら考え 高め合いながら 伸びる子」

◎重点目標＝キーワード
重点生活目標

「思いをもちかかわり合う」
「あいさつがひびき合う学校・地域」

あすなろ

No. 5 令和元年 7 月 2 日

あなたが居るから しあわせ

校長 日吉美矢子

晩春から初夏への季節の移り変わりと共に、夏休みまであと1か月となりました。

最近、気になるニュースとして、登校途中の路上で身も知らない人を刺してしまうような悲惨な事件を耳にします。そして、不幸にも、何の罪もない小中学生が巻き添えにされている現実、学校として何が出来るのかなど考え込むことも多いです。そのような事件を起こす本当の原因がどこにあるのか、それは、わからないことですが、少なからず、そのような人たちに共通する点として、様々な事情から社会とつながれていないことや人の温かな結び付きが薄れてしまっていることなどが根本にあるのだらうと思います。

以前読んだ、「置かれた場所で咲きなさい」(元ノートルダム清心学園理事長 渡辺和子著)の中に、下記のような文章があり、学校も家庭も、子どもとどうかかわり、育てるのかということ考えた時に、次の中に書いてあることは、教育の原点ではないかと考えます。

「数年前のある朝のことです。一人の中学二年生の自殺を告げる電話があり、報告を終えた校長は、『入学して今日まで、あれほどいのちを大切にしましょう、いのちは大切、と話してきたのに』と嘆くのでした。

翌週、私の大学の講義が、たまたま命に関するものだったので、この件に触れ、学生ともども生徒の冥福を祈りました。

私の授業は、集中講義で人数が多いこともあって、出欠席はメモで取り、学生はメモの提出時に、任意ですが、裏に感想や疑問などを書いてよいことになっています。その日の授業後に提出されたメモを読んでいたら、次のメモが目にとまりました。

『最近、こんな CM がありました。いのちは大切だ。いのちを大切に。そんなこと、何千回何万回いわれるより、“あなたが大切だ”誰かにそういってもらえるだけで、生きてゆける』その学生は続けて、『近頃、この言葉の意味を実感しました。“私は大切だ。生きるだけの価値がある”そう思うだけで、私はどんどん丈夫になってゆきます』

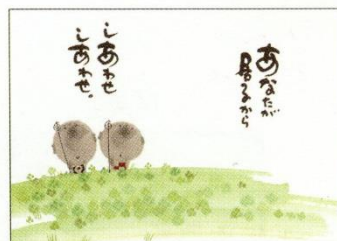
この学生は、きっと誰かに“君が大切だ”といわれて生きる自信をもらい、“丈夫”になっていったのでしょう。二年後卒業していきました。



いのちは大切と何度教室で聞かされても、ポスターで読んでも、そのことが実感できていなくては、だめなのです。実感するためには、心に届き、身に沁みる愛情が必要なのだと、私も自分の経験を思い出しました。」(置かれた場所で咲きなさい 渡辺和子著から引用)

兄や姉に比べて劣等感を持っていた著者は、この後、仕事上の上司であった人から「あなたは宝石だ」と言われ、自信のなかった自分がみるみる元気になっていった経験を述べています。心に届き、身に沁みる愛情、それは、人間として何ができるとか、できないだけの中にあるのではなく、「あなたの存在自体が大切だ」とストレートに伝えることなのだと思います。学校ではクラスを作っている一人一人が、かけがえのない大切な存在です。お互いに、なくてはならない仲間として大切に、切磋琢磨し合える人間関係を作ることが学校の大事な役割だと考えています。

家庭でも、子どもたちが「あなたが居るから幸せだよ」と子ども自体の存在を温かく認められ、心から愛されることで、自分に自信をもち、どんな時にも元気に頑張れるのだらうと思います。



〈ちょこばなスタート〉

6月21日（金）より、令和元年度の「ちょこばな」が始まりました。「ちょこっと小話」がその語源と聞いていますが、朝の時間にボランティアの皆様が各クラスを訪れ、本の読み聞かせをしてくださっています。子どもたちは、月に1～2回の「ちょこばな」の日をととても楽しみにしています。ボランティアの皆様におかれましては、朝の貴重な時間にご来校していただき、ありがとうございます。今年度もよろしくお願いいたします。



〈防犯教室〉

6月21日（金）、1，2年生を対象に、警察や防犯協会の方々の指導による防犯教室を実施しました。不審者に遭遇した場面において、大きな声で「助けて！」と叫ぶ練習をしたり、不審者対応の合言葉「いかのおすし」を確認したりと充実した時間になりました。

各地で子どもたちが被害に遭う事件が続いています。学校でも、引き続き学年別一斉下校の徹底や下校指導の強化に取り組んでいます。繰り返しになりますが、ご家庭でも可能な範囲で、登下校の見守りをしていただけるとありがたいです。



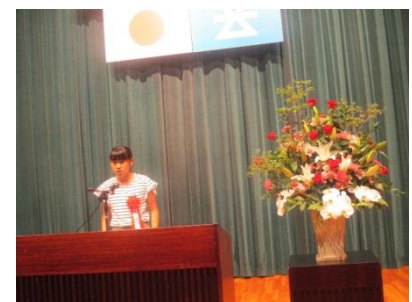
〈交通安全リーダーと語る会〉

6月27日（木）に、校外指導部、通学世話人、6年生保護者、PTA三役の方々と、長泉町交番の警察官、交通指導員、見守り隊、役場地域防災課の皆様をお迎えし、6年生と交通安全を語る会を行いました。今年度は、「よりよい集団登校を目指して」というテーマのもと、学級内で各登校班の情報交換をし、学年でグループの発表を聞き合うという内容でした。子どもたちからは、「安全・安心な登校のためにも、地域の方への挨拶の大切さを感じている。」という意見が出るなど、地域とともにある学校という意識も感じられました。子どもも大人も、交通安全と防犯意識を高める良い機会となりました。



〈少年の主張大会〉

6月16日（日）に、コミュニティながいずみにおいて、長泉町第35回少年の主張大会が開催されました。町内各小中学校と知徳高校の代表児童・生徒がそれぞれ主張を発表しました。長泉小学校からは、6年塚本彩和さんが、「助け合いでつながる」という題で、周りの人を助けられる人へ、そして自分にできることを探して挑戦できる世の中になってほしいという願いを堂々と発表しました。



〈夏休み中のお知らせ〉

- ①PTA総会等でお伝えしていますが、今年度は、プール開放はありません。また、学校図書館もパソコン工事が入るため、夏休み中の貸出は行いませんので、ご承知おきください。
- ②昨年に引き続き、学校閉庁日が設けられます。期間は、8月13日～16日となります。詳しくは、別紙「長泉小学校の夏季休業中の学校閉庁日」の文書をご確認願います。